

第3回大津市庁舎整備基本構想策定懇話会議事録（要旨）

日時：令和4年8月18日（木）

15：00～16：30

場所：本館4階第2委員会室

1 開会

構成員7名出席（うち2名はWEBによる参加）

2 座長あいさつ

3 懇話会の公開及び傍聴について

原則公開（異議なし）

傍聴人入場（20名）

4 議題

（1）庁舎整備基本構想の策定について

① 市民アンケートの結果（中間報告）について

② 大津市庁舎整備基本構想たたき台（市民意見反映）について

資料

- ・市民アンケートの結果（中間報告）について（資料1）

- ・大津市庁舎整備基本構想たたき台（市民意見反映）（資料2）

○座長

協議事項は、「①市民アンケートの結果（中間報告について）」と「②大津市庁舎整備基本構想たたき台について」を4つに分けて、「候補地の絞り込みに関すること」、「優先して検討を行う候補地での庁舎整備に関すること」、「新しい視点で検討を行う候補地での庁舎整備に関すること」、「調査整備に求める基本理念のうち基本コンセプトに関すること」とする。

まず市民アンケートについて事務局から説明をして協議し、次に基本構想のたたき台を説明して、各項目について協議を行いたい。

■①市民アンケートの結果（中間報告）について

資料により事務局説明

<意見等>

○座長

何か意見、質問等あればお願いします。

○構成員

最終的なデータ処理の方向性について、年齢などの属性による差は今後調べていくのか。

●事務局

アンケートの結果については、属性などのクロス集計を並行して進めているので、集計していきたい。

○構成員

問 21 で候補地のエリアとして4つあったが、回答は1つを選ぶというものだったか。皇子山総合運動公園は前回も出ていたが、大津駅県庁周辺エリアは、今回新しく出てきた候補地である。約3割の方が望んでおられ新たに検討するが、複数選択という回答の仕方ではなかったのか。

●事務局

4 候補地またはその他のエリアで自由記載欄を設けて、いずれか1つで聞いている。

○構成員

郵送回答とインターネット回答で使う年齢層が分かれてくる。インターネットがどれだけ残っていて、郵送がどれだけ残っているのか。

●事務局

インターネット回答の 1,355 については、すべて集計できている。郵送はまだ集計できていない。傾向として、インターネット回答分を集計した段階では、デジタル化したサービスの利用は多い状況にある。郵送分の集計が積み上がるに従って、オンラインサービス利用は減っている傾向である。

○構成員

問 8 市役所の訪問要件でマイナンバーカードは近年増えていて、それ以外だと戸籍住民票、印鑑証明、税金の申告が多いが、その他も多い。その他の内容は具体的に分かっているのか。

○事務局

現在集計をかけているが、まだまとまっていない。

○構成員

無視できないパーセンテージなので、集計していただきたい。

○構成員

問 8 について、マイナンバーカードの交付受け取りは、今後減っていく。この数字が無くなれば、戸籍、住民票、印鑑証明等が最も多くなって、その他も3分の1程度あるので、今マイナンバーカードに数字が引っ張られて、他のものが少ないように見えるが、実はそういうところも多い。クロス集計も検討していただきたい。

8 ページのエリアについて当初は、現庁舎周辺に建て替えるかという話だったが、そこから皇子山総合運動公園エリア等候補地が増えて、さらにアンケート取った結果、大津駅周辺が出てきて、新たな検討内容が増えてきた。市民が概ね不満に思われていることは、交通アクセスと駐車場ということ。

○構成員

仕事で来られるのは大津市民ではない方もいる。仕事で来る方への意見聴取の機会があるのか。問 9 赤で括ってある不平不満の意見は、次に繋がる意見として貴重だと思うので、意見を丁寧にくみ取ると素案を作成するときに開かれた市庁舎に繋がっていくと思う。

●事務局

問8は、個人的な用件と仕事などの用件ということで、具体的な部署と用件の自由記載欄を設けているので、意見はこちらで吸い上げる。意見は、しっかり拾いながら活かしていきたい。

○構成員

基本的に市民に対するアンケートか。

●事務局

市民対象だが、市民でも事業者の方もおられるので、そういった視点で個人的な用件で来られる場合と仕事などの用件ということで設けている。

○構成員

問8の選択肢の中で、支所ではできない手続きを確認しておきたい。

●事務局

マイナンバーカード交付・受取りや、生活保護の手続きについては、基本的には本庁で行う。他にも保育、子育て支援に関することや市営住宅、学校の手続きなど支所で書類の受け取りなどは行うが、相談などは本庁になる。

○構成員

支所で出来ることと出来ないことをきちんと整理進めていくと、支所の活用ということを整理しながら考えていける。

●事務局

分析の時にそういった考え方のもと進めていきたい。

○座長

意見も出尽くしたので、次の議題に移りたい。

■②大津市庁舎整備基本構想たたき台について

資料により事務局説明

○座長

内容をいくつかに分けて、個別に意見を頂きたい。候補地の絞り込みの方法に関して、何か意見等ありますか。

○構成員

短期間に市民アンケートを実施して、その結果を踏まえ、大津庁舎整備基本構想案を纏めたことは素晴らしく思う。大津市庁舎整備基本構想だが、アンケートは庁舎整備だけでなく、大津市の行政サービス全般に渡ってのアンケートだったと思う。大津市の特徴は、大きな長細い市であり、支所が大きく活用されている。支所に普段は行くが、支所で取り扱うことができないサービスが本庁舎の方になってきている。本来であれば、庁舎整備の枠組みの中であっても、支所をどう取り込んでいくのか、支所との役割分担はどう果たすのか、明日都浜大津も大津市の持っている大きな資産だと思う。浜大津という非常に便利なところにあり、そういった所が支所のネットワークと本庁舎と明日都浜大津、どう取り組むかということが原則議論されてからというような気がする。

すべての支所ではないが、支所には会議室、公民館が存在していて、市民サービスがそこで色々されている。本庁舎にも会議スペース等々が出てくるかと思うが、その支所と本庁舎と、市民サー

ビスという切れ目のないところでの議論が、まずは、この中にあるべきではないかと思っているので、基本構想の中に記載すると今後の議論になるのではないかと思います。

○事務局

アンケートについては、庁舎整備以外のことも吸い上げているので、こういった意見をしっかりと汲み上げて、また大津市の特徴的な細い長い地形、多くの支所があることで、今後デジタルの進歩もあり、支所の役割や明日都浜大津の今後の活用について、アンケート結果も踏まえながら、庁内でも関係部署とも連携をした中で纏めて行きたい。来年1年間で調査も考えているので、庁内の各部署とワーキンググループ等で議論したい。

○構成員

新たに章を設けるなどして、支所や明日都浜大津との関連や連携があって、2つの候補地でそれぞれ扱い方が異なってくると思う。その流れの前に大津市としての支所、明日都浜大津の現状というのを分析して、次に繋げていければと思う。

○座長

候補地は、4ヶ所から市民アンケートを踏まえて、2ヶ所に候補地を絞られたが、これに関しては如何か。それぞれ検討頂きたい。

皇子山総合運動公園での庁舎整備について、支所或いは、明日都浜大津の扱いについても言われている。その点について、まずは優先して検討を行う候補地として皇子山総合運動公園での庁舎整備について意見等ありますか。

○構成員

大変素晴らしい候補地だと思っている。大津市がこの候補地で市庁舎を構えるのであれば、健康で長寿命化を目指す大津市のビジョンに繋がるとか、新たな核を形成するとか、従来の市庁舎との距離が非常に近いので、交通のネットワーク、そういったことをどうするかということで、今の段階でなかなか記載できないところは多いかと思うが、ぜひビジョンは膨らまして、さらなる魅力、或いはこの候補地をつなぐ部分があるのではないかと思います。

○構成員

ここに市役所を建てるということは、大津市がこれから目指す方向性を体現する場所になると思う。スポーツだけではなく、健康増進とか、小さいお子様から高齢者の方まで、身近に運動を取り入れることによって健康増進に繋がって、高齢者の病気の予防に繋がるような生活ができる市になるというような、市全体のコンセプトにも繋がっていくような場所だということと、スポーツの魅力は大きくて、スポーツをやるだけでなく、見て楽しむ、参加するということと、日常的に平日あまり使われていない場所に市役所が来ると、平日は市役所機能でその地域が賑わって、休日はグラウンド活動の人で賑わうというように、使う時間帯を分けてその地域が賑わっていくということに繋がるので、両者が上手くミックス出来るような形で来ると、地域全体が賑わう場所になるのではないかと。

●事務局

単に庁舎を建てるだけではなくて、ビジョンを持って、市の方向性、コンセプトをしっかりと市民の方に知って頂くことが、庁舎整備の理解に繋がっていると思うので、関係部局としっかりと連携を取りながら考えていきたい。

○構成員

この案を見た時に敷地に一番余裕があって、何かあった時に敷地に余裕があるというのは、安心感に繋がると思う。この意見でまとまりつつあるのは、すばらしいと思う。

明日都浜大津に保健所が入っているが建物自体の耐震性はどうか。何かあった時に、本部として機能するところで、いつ何が起こるか分からないので、明日都浜大津に本部を設置することができるのかどうか。ある程度の面積があり、便利などところにあるので何かあった時に本部が置ける

のではないかと。

●事務局

明日都浜大津の耐震性等については問題ないという認識である。グラウンドのそばで庁舎が整備できて、防災の拠点になると、空地に余裕があることで、いい案だとお話し頂いた。大津駅県庁周辺で庁舎整備を考えた際の防災機能として明日都浜大津がどうかというような点についても、しっかり考えて行きたい。

○構成員

皇子山総合運動公園には、これまで問題になっていた土砂災害警戒区域は、基本的にはないということよかったか。

●事務局

土砂災害警戒区域からは外れている。

○構成員

建物を建てることに対して、法律的に何か改善が必要なことはあるのか。

●事務局

都市計画法の計画決定されている都市計画公園であるので、都市計画公園の決定について変更の手続きが必要になってくる。あと接道の問題とか、課題としてここに留意事項として挙げている。当然国有地なので取得も含めて、都市計画公園を代替とする場合、機能の付替などの課題があるので、しっかり検討を進めて行きたい。

○構成員

現在、明日都浜大津には市の部局がいくつか入っているが、皇子山総合運動公園に庁舎が建った場合、この部局は集約されるということか。

●事務局

明日都浜大津の使い方も検討した中で、どう活用するかというところで考えていく内容になってくる。

●事務局

現時点での整備費用の考え方で、1人当たりの面積で新庁舎全体の面積は、4万から4万5千㎡で、新館の1万を除いて、3万から3万5千㎡ということで概算費用を出している。今回は、明日都浜大津の部局も一定集約したという形になるが、実際のところ、明日都浜大津については、今後そのあり方について検討する中で、必要面積、庁舎として新しく整備する面積からは少し減っていく可能性があるというところで、今は整備費用の考え方では、集約という位置付けにはなっていない。

○構成員

リスクを分散する。災害が起こったときに、本庁舎が災害にあった時の代替としての活用もできる面積もあるということなので、その辺りも検討して欲しい。

○構成員

非常に良い場所だと思う。衛星写真を見ると、本館の大きさに比べてグラウンドが非常に広い。その一部分だけ使うようにするのか。土地全体の活用方法みたいなものも含めて考えていかなくていけない。

●事務局

全ての土地ではなくて、中でも駅寄りの場所など、できるだけグラウンドを残すような絵が描け

ないか検討していく中で、総合運動公園としての機能の向上が図れるということも含めて、今後、検討していきたい。

○構成員

市民が集まって、体力づくりを普段からやっていくような場所として全部を活用した上で、その一部に市役所の建物がある、そういうような考え方はできないか。全部買うとそれだけ費用がかかる。

●事務局

国とは協議が必要だが、例えば分筆して公園都市計画からそのエリアをはずして、そういった形で必要面積を確保するというような絵が描けたらと思う。

○構成員

一部だけ今のグラウンドのまま残るという形が中途半端なような気がする。一体として整備出来た方が本当は良いと思う。

●事務局

実際グラウンドを使っておられる方がおられるということで、関係部局と意見交換をしながら、どういった形で庁舎の絵を描くのがいいのか、しっかり市民の意見を聞くワークショップも踏まえて考えていかないといけないと思っている。

○座長

もう1つの新しい視点で検討を行う候補地として、大津駅県庁周辺での庁舎整備について意見等ありますか。

○構成員

運動公園に建てる場合は、全てのいろいろな機能を1ヶ所に集約して、市民サービスをする所と市役所の職員が普段の業務をするところを全て一体化しているイメージでよいか。あと支所と結んでというのがあがるが、こちらの場合、分散型ということで、立地がいいのは、市民の方が利用されるのに都合が良い。市役所の職員が、普段の業務をするのは、必ずしもいいとは限らないが、窓口業務は、窓口として開設するのはこういう所において、テレビ会議システムを使って、バックオフィスのところは別の場所であってという業務形態がそもそも可能なのだろうか。

●事務局

分散型庁舎ということで他都市の事例もある。今意見頂いたような業務のやり方を見直す中で可能かと考えている。県庁大津駅周辺は土地がないので、市民サービスの提供という点では明日都浜大津なども活用しながら、どこまでネットワークで業務が上手くできるか考える必要がある。他都市の事例も参考に検討を進めていきたい。

○構成員

こちらの場合も、職員が仕事するのもこの場所に来てというのが想定されている。

●事務局

現時点では、総合窓口を取って、職員、面積を考えると、一定規模の土地が必要になってくるので、大津駅県庁周辺での整備となるとオフィス機能や本部機能に特化したような庁舎になる可能性が高いと考えているが、アンケートでも市役所にほとんど来られない、支所で用件が済めば良いという意見もある中で、総合窓口のあり方自体も他都市と同じような考え方で、フロアをどうするのか、窓口サービスを大津駅周辺に持ってこられるのか、明日都浜大津になるのかということは、今後議論していかないといけない。

○構成員

市民の窓口として支所も活用しつつ、本庁でやらなければいけないことは明日都浜大津でもやる、バックオフィスとしてこの辺りに所在する、そういう構成が考えられる。

○構成員

他都市で分散型の事例があるということだが、それは県庁所在地か。

●事務局

県庁所在地ではなかった。

○構成員

県庁所在地とそうでない所は、かなり違うところもあるかと思うので、必ずしも他で出来るとしても、もう少し詳細に検討した方が良いと思った。大津駅県庁周辺の検討で、現在の本庁は残す、残さないという検討も入るのか。

●事務局

本館は庁舎としては利用しない方向になる。新館は、企業局を中心に活用するということまで、今方針を決めているが、床が全て埋まるわけではないので、新館での庁舎機能のあり方も併せて考えていくことになる。

○構成員

大津駅周辺は、どうしてもスペースがないので、分散型にならざるを得ない。そうすると、今、この庁舎で起きている何処に行ったら、何があるか分らないということと同じ事が起きるのが、一番気に掛かった。駐車場スペースもどうやって確保するのかとか、ただ狭いという不満がある。今明日都浜大津は非常に便利な所にあるが、11ページに挙げている5つの部局がすでに機能的にあるので、それがどこかに移動しなければいけない。結局、本当に全く新しい考え方で、この分散型を考えていかなければならない。新しい考え方は何か、今一つ分からないまま、大津駅前の案を用いているという状況である。分散させるということに完全に振り切ってしまうのか。そうしたら本庁もなくて、全部支所化するぐらい極端なところまで考えるのかどうか。その辺をどういうふうに考えているのか。

●事務局

現時点では、市民サービスの拠点、本部機能で、明日都浜大津ですと、子育て・健康、市民の交流とテーマ毎で施設が分類されているので、もし分散型ということで検討するならば、庁舎毎にテーマを持って、部署を配置することで、市民サービスの向上に繋がれば良いと思うが、どこかの部署に行けば良いのだというようなことで、結局、2ヶ所3ヶ所回らないといけないようなことがないような形で検討して行きたい。振り切って全て支所ということは、難しい部分があり、36ヶ所ですべて機能分散ができるかということそうではないと考えている。

○構成員

分散型配置ということで、滋賀県庁は大津駅前に大きな施設が集約化されていて、また大きな敷地で構えられている。反面、大津市は、例えば大津百町のように、一つ一つの建物が、一つ一つの機能を持つような、そういうまちづくりを目指すのだということであれば、ものすごく面白いテーマになるのではないかと思う。ただ、全体のフレームは、どういうビジョンを目指すかということも合わせて考えていかないと再配置は簡単に出来そうにない。分散配置する場合は、今まで失われつつある大津市の街並みを再現する大津百町に代表されると思うが、そういった街並みを再現せるとか、そういったフレームが出てくると非常に面白い。ここを見ると逢坂支所が大変便利な場所があるので、大津駅前の市民サービスを上手く大津市民全般に対して提供するという意味では、この逢坂支所を支所として扱うのでなくて、明日都浜大津との役割分担が出てくるかと思うが、その活用も併せて考えるとよいと思う。

○構成員

2つ候補地が出て来て、どちらも魅力的なものになり得る候補地と思った時に、最終的に、どちらかにしないといけない。庁舎の整備だけで考えると、絞っていくのが難しいのではないか。絞っていく際に、庁舎だけの話にせず、大津市のまちづくりと繋げていき、街をどうしていくのかというビジョンと連動して考えないと難しいのではないか。

●事務局

2つの候補地について、それぞれの特性もあるので、スケジュールで説明したが、1年間調査をした上で、大津市の方針を固めていければと思っている。例えば分散型でやったらこういう課題があるとか、こういうことをやらないといけないとか他都市の事例も調査しながら、最終基本計画策定までの段階で纏めて行けたらと考えている。

○構成員

アンケートのクロス集計で大津駅・県庁エリアが望ましいと言っている方はどういう属性か、他の問いにどういう回答をしているのかを見たら面白い。窓口は置かずに普段の業務をするところということで、一般市民の方は訪れることはなくなる。あまり立地も関係なくなる。

他のエリアは、公園であったり、唐崎は離れている。運動公園を無くしたくないからということもあり、なぜ市民の3割弱が望ましいと思っておられるのか分らない面がある。

●事務局

クロス集計をすることによって、属性からどういった方が求めておられるのか、庁舎によく来られているとか、居住地の関係なのかとか、しっかり集計して分析していきたい。

○構成員

地震や何かあった時に、本部が作れるのかということを考えていて、大津駅県庁周辺は厳しいのではないかと危惧している。滋賀県庁の右側に滋賀県の防災センターがある。

滋賀県の場合と大津市の場合では、違うような気がする。滋賀県は、滋賀県全体を見て、本当の本部機能ということだが、大津市の場合、本部機能を持たせながら、なおかつ市民の方が結構いらっしゃる可能性が高い。そうすると周りに駐車できるようなスペースがないと何かあった時にそこが本当に大津市の本部になり得るかという懸念がある。何かあった時に明日都浜大津にも本部機能を持たせるとか、事前にある程度確定させておいた方が良い。そのあたりがこのプランの弱いところだと思う。

●事務局

有事の際の本部ということで、危機・防災対策課という所もあるので、検討を進めていく中で、そういった機能についても、情報共有しながら考えて行きたい。頂いた意見はしっかり取り入れたい。

○構成員

滋賀県に大雨特別警報が初めて発令されたとき滋賀県が孤立した。あの時県庁の辺り、結構土砂まみれになった。この辺はそういう危険性がある。土砂が大量に出てくるとすぐに車が動けない。その辺を考えておかないといけない。

●事務局

意見はしっかり取り入れて考えて行きたい。

○構成員

大津駅県庁周辺の案も一方で魅力を感じていて、この案の方が、ビジョン次第では非常にコンパクトシティではないが、大津市は全体に長い、集約したエリアで、賑わいを作れる。面的にこの活性化できるところに繋がっていく気がする。今、市の方から提示されているのは点でしかない。点でしかなくて、それを面的にどうやって繋ぐとか、大津百町とか歴史的なゾーンも含まれてい

るので、そういうものと観光と絡めて、一体的に面的にどう整備できるとか、そういうビジョンを肉付けしていかないと、少し弱い。防災の話もあったが、災害時には、駅前のここでもスペースが足りないと思うので、明日都浜大津に防災機能を置くとか、災害時のことも含めて、こちらの候補地については、検討項目が相当多いと思うので、その辺りの肉付けが出来てくると、こちらは、別の考え方が出てくる。そのあたりの作業、皇子山総合運動公園と両方並行でやっていくと業務として大変なのではないかと懸念される。そのあたり集中的に肉付けするのは、どのような方針なのか。

●事務局

市の活性化であったり、面で繋ぐことは、大津駅前が県庁所在地として、さらに相応しいところにしていくには、魅力あるまちづくりは大事だと思っている。具体的な形については、来年1年かけて、調査をする中で、どういったことが考えられるか、本日いただいた防災面の意見などもしっかり踏まえて、検討していく必要がある。

○座長

庁舎整備に求める基本理念について、意見があれば伺いたい。ここで挙げられているのは、基本コンセプトとして4つのコンセプトが挙げられているが、これでよいのか、あるいは、こういうものを入れていった方がよいとか、それに付随する基本方針も、こういう内容を含めたほうがよいとか、ご意見があればお願いしたい。

○構成員

この4つの基本コンセプトは、これまで懇話会で話をされていたものと同じと考えてよいのか。何か新たに加えられたものがあるのか。市民アンケートを踏まえて、こういうことを付け加えたとか、コンセプトだけでなく、基本方針の方でもそういうところはあったのか。

●事務局

基本コンセプトについては、アンケートを実施する前の検討結果と、庁内での協議を踏まえて4つ仮として設定したものをそのまま書いている。基本方針については、第1回懇話会で案として示した基本方針を今回アンケートに向けて仮として設定した基本コンセプトにぶら下げて表示している。今回の懇話会や市民アンケートの結果などを踏まえながら、基本コンセプトがこれでいいのかというところで、意見いただけたらと思っている。

○構成員

17 ページ①は、皇子山総合運動公園を想定して書かれている内容なのか。都市公園と一体となった庁舎は、大津駅前の場合だと外れるので、書き方を工夫したほうがよいと思った。19 ページの整備費用に関して、大津駅前では、これからするということで、9月の素案のときに出てくるのか。費用がどのぐらいのオーダーで変わってくるのか。大津駅前の場合、かなりコンパクトにして費用も抑えられるのであれば、一定の選択もある。そのあたりの見通しがあれば聞きたい。9月中旬に素案は、あまり時間がない。素案を出すときに、費用もその段階で出すのか。

●事務局

大津駅県庁周辺は、算定条件が整わないと書いているが、この基本構想の中では算定できないと考えている。その理由として、土地がない中で、土地を買って、敷地面積が少ないところに庁舎を建てる場合もあるが、官民連携で、民間が建てたビルに床を借りるというような方針もあるので、条件が大きく振れてしまうので、今回の基本構想の中では、一定示すことができないと考えている。

○構成員

9月中旬のときには、皇子山総合運動公園の場合だけ示すことになるのか。

●事務局

そうなる。

○構成員

それで、いいのか。

●事務局

来年度の調査の中で、官民連携のやり方とか、購入できる土地があるのかというところも見据えながらその中で、庁舎を大津駅周辺、皇子山総合運動公園という比較の中で、費用の比較は大事なことで、そういったところも今回の基本構想の中では、概算として示せるのが皇子山総合運動公園ということで留めさせていただいて、来年度しっかり費用比較できるような形で検討していけたらと考えている。

○構成員

この基本コンセプトに関しては、全く異論はない。これまでも言われてきている内容なので、これを進めることには賛成している。一方で、都市計画、大津市が、どういうまちづくりをしていくかとの関わりが非常に重要になってくるので、この基本コンセプトが先なのか、都市計画マスタープランが先なのか、悩ましいと思うが、1年間、これから検討するということで、都市計画課ともいろいろと議論を積み重ねて大津市の都市計画の中で落とし込むとしたら、こういうコンセプトが、どういう形で具現化していくのかという、そういうケーススタディもしていただければと思う。

●事務局

単なる庁舎ではなくて、都市計画は、非常に重要だと思っている。関係部局においても、推進本部においても、都市計画部とも協議しているので、今後もしっかりと意思統一を図りながら、協議をして進めていきたいと考えている。

○座長

質問もないようなので、以上で本日の議題はすべて終了した。

5. その他（会議終了）

- ・傍聴者退場
- ・次回は今後日程調整

6. 閉会

総務部長挨拶